

令和6年度 第1回自治会・町内会意見交換会 概要

【日時】 2024年（令和6年）2月15日（土）14:00～16:10

【場所】 市役所第2～3会議室

【出席者】 各自治会・町内会会長等（23団体、34名）

デジタル推進課坂本課長

市民協働課新倉課長、市民協働課小野田係長、市民協働課北村主事、（記録）

【議題】

1、逗子市の進めているDXの施策について

デジタル推進課：坂本課長

2、各自治会・町内会から活動状況に対する意見交換

- ・自治会・町内会のDXについて（ずし3丁目防災の会、沼間三丁目、逗子グリーンヒル自治会）
- ・防災倉庫について（下桜山交友会）
- ・住民自治協議会について（桜山二丁目の会）
- ・その他

【会議概要】

1、開会のあいさつ（新倉市民協働課長）

2、逗子市のDX推進について（デジタル推進課：坂本課長）

①逗子市DX推進ビジョンについて

②デジタルデバイドへの対応、デジタル相談会

③質疑応答

- ・子どものDX推進については

子育て支援課や保育課と連携して全庁的に進めていく方針となっている。各所管と連携して進めていきたい。（市）

- ・逗子市のマイナンバーの普及率は。

市民の7～8割程度の普及率である。県内で高い方と考えている。（市）

- ・自治会のデジタル化について。Lineの公式アカウントなどの自治会への普及は。

自治会・町内会のデジタル化のツールについては市民協働課と連携して進めていきたい。（市）

3、各自治会・町内会から活動状況に対する意見交換

①自治会・町内会のDXについて

- ・理事の負担を少しでも減らすために、デジタル化、ラインを使って済まそうと思ったが、意思の疎通ができない。自治会員にラインで知らせるのは難しい。（アーデンヒル自治会）

- ・昔からの自治会員への通知は紙でやっている。役員だけはラインを使用し、ラインで意見交換している。若い会員からは回覧を紙でなく、ネットでやって欲しいという要望がある。（小坪区会）
- ・災害が起きそうな時などの情報発信などのラインを有効活用したい。回覧板は高齢者も多いので、回している。それにより、高齢者の見守りもできる。アナログ部分とデジタル部分の両立をバランスよくやっていきたい。（ずし3丁目防災の会）
- ・2,300世帯あり、ラインは難しい。役員同士はラインでやり取りとり。ラインを活用したいが、世帯数が多いので難しい。セキュリティの問題もあるので、ハードルが高い。（ハイランド自治会）
- ・1,100世帯あり、理事は9人。回覧には120部必要。理事9人でさえラインをしてない。自治会費も集金している。振込も考えているが隣の人の顔がみえない（下桜山交友会）
- ・市民協働課で自治会にアンケートしてほしい。実態調査など。（桜山二丁目）
- ・各自治会・町内会の状況を聞かせていただき、今後どのように進めていくことがよいかを含めて検討していきたい。（市）

②世代交代について

- ・会長を置いていない。横一列の班長会があり、役所との窓口（主代表）を置いている。横一列だと負担がすくないが頂点のピラミッド型だと会長、副会長の負担が大きい。このやり方で比較的うまく回っている。（ずし3丁目防災の会）
- ・役員は毎年交代する。3ヶ月間、次期役員にフォローしている。会計の一年交代。会長と防災が忙しい。割とスムーズにまわっている。1年任期が楽なのかもしれない。（逗子南ヶ丘自治会）
- ・自治会の維持が大変。自治会がなくなった場合は、市からのいろいろな資料とかはどうなるのか。（桜山番合谷戸自治会）
- ・役員のなりてがない。幼児部の活動があったが、なりてがなく休止中。（ハイランド自治会）
- ・世代の高齢化、世帯構成が変わったなど、様々な事情があり、自治会・町内会の継続が困難となってきている。活動が継続できるように今後考えていきたい。（市）
- ・こども会は2つあるが、出てくる子どもが少なく、なくなってしまうかもしれない。他の自治会からの子どもの参加の依頼がある。（山の根自治会）

③防災について

- ・防災倉庫の建て替えについて、窓口が防災安全課、緑政課、神奈川県など多岐にわたり、専門知識がないと難しい。また消防車両が入れない場所の消火器の設置は各自治会ではどのように行っているのか。（下桜山交友会）
- ・26本の消火器を設置している。防災資材管理やネットBOXの管理など自主防が中心となり活動している。（桜山2丁目の会）
- ・グリーンヒルの地域は防災車両が入れないため、スタンドパイプを設置したが、訓練な

どでは使用しないよう消防から言われている。（グリーンヒル自治会）

④住民協について

- ・ 逗子小学校区は住民自治協議会が立ち上がっていないが、すでに立ち上がっている自治会・町内会の方にその成果などお聞かせ願いたい。（桜山2丁目の会）
- ・ 久木住民協では自治会役員が住民協の役員となる。自治会などの数が多く、自治会同士の情報連携が課題であったが、各自治会の役員が住民自治協議会に参加し、意見を交わすことで、情報の連携など円滑に進んでいると考える。（ハイランド自治会）
- ・ 小坪住民協も市職員が総会などに参加している。参加する市職員も様々な部署の方がいる。その場で回答できないことも後日、担当所管から回答をもらうなど、市の担当窓口とのつなぎ役として有難いと感じている。（南ヶ丘自治会）

⑤紙媒体について

- ・ 自治会への連絡が紙となっているが、他の部署ではメールなどでの送付となり始めている。（沼間工藤）
- ・ 例年4月に自治会・町内会に役員連絡票などを送付している。その際にメールアドレスを伺い、以降はメールのやり取りに切り替える予定である。（市）

4、閉会のあいさつ（小野田市民協働係長）